



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 Delta-Fly Pharma株式会社 上場取引所 東
コード番号 4598 URL <https://www.delta-flypharma.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 江島 清
問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理部門担当（氏名） 黒滝 健一（TEL）03(6231)1278
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	—	—	△831	—	△840	—	△841	—
2025年3月期中間期	—	—	△916	—	△915	—	△917	—
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期中間期	△77.04		—					
2025年3月期中間期	△111.44		—					

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	508	355	69.4
2025年3月期	434	277	63.5

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 352百万円 2025年3月期 275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期(予想)			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	△1,500	—	△1,510	—	△1,512	—	△155.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	11,525,000株	2025年3月期	9,729,900株
2026年3月期中間期	198株	2025年3月期	198株
2026年3月期中間期	10,926,589株	2025年3月期中間期	8,229,702株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	4
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果や、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復が続くことが期待される一方で、継続するエネルギー価格の高止まり、原材料費・人件費の高騰に伴う食料品等の値上げ、為替変動及び米国の関税政策等による景気への影響が懸念されるなど、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

当社では、がん患者の高齢化による治療への懸念や新薬の高額化による費用負担増加への不安が進む中、経済的にも安心して家族のがん患者にも勧められる治療法を提供することを目指して、「モジュール創薬」に基づく研究開発に取り組み、各パイプラインの臨床開発を前進させました。

抗がん剤候補化合物DFP-10917単剤の米国における臨床第3相比較試験は、中間解析のためのデータクリーニング処理が完了に近づき、2025年にデータカットオフの準備を進めております。また、ベネトクラクス治療前歴のある急性骨髄性白血病の患者を対象に、米国においてDFP-10917とベネトクラクスの併用療法による臨床第1／2相試験は、有効性を確認する第2相部分の症例登録中であります。日本におけるライセンスパートナーの日本新薬(株)が国内の臨床第1相試験の症例登録を進めております。抗がん剤候補化合物DFP-14323は国内における主要基幹病院約30施設で臨床第3相試験の症例登録を継続しております。抗がん剤候補化合物DFP-17729は国内における臨床第2／3相試験の第2相部分の症例登録を継続しております。抗がん剤候補化合物DFP-11207は治験薬の製造を行い、次試験の開始に向けて日本での実施の検討を継続しております。抗がん剤候補化合物DFP-14927は、米国において臨床第1相拡大試験を継続しております。また、抗がん剤候補化合物DFP-10825は前臨床試験を完了し、臨床第1相試験の開始に向けた検討・準備をしております。

以上の結果、当中間会計期間におけるマイルストーン収入等はなく、事業収益はありませんでした(前中間会計期間比－%)。事業費用につきましては、開発パイプラインの臨床試験における医療機関並びに症例数の増加、次試験に向けた治験薬となる原薬や製剤の製造などを進めたことなどに伴い、831百万円(前中間会計期間比9.3%減)となりました。この結果、営業損失は831百万円(前中間会計期間は916百万円の損失)、経常損失は840百万円(前中間会計期間は915百万円の損失)、中間純損失は841百万円(前中間会計期間は917百万円の損失)となりました。

なお、当社は医薬品事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の経営成績を記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は508百万円となり、前事業年度末と比較して74百万円増加しました。これは主として、現金及び預金が96百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は153百万円となり、前事業年度末と比較して3百万円減少しました。これは主として、未払金が2百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は355百万円となり、前事業年度末と比較して77百万円増加しました。これは主として、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ459百万円増加したものの、中間純損失の計上により利益剰余金が841百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年5月15日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	338,829	435,400
その他	55,846	33,581
流動資産合計	394,676	468,981
固定資産		
有形固定資産	36,769	36,051
投資その他の資産	2,888	3,619
固定資産合計	39,658	39,671
資産合計	434,334	508,653
負債の部		
流動負債		
未払金	124,588	122,063
未払法人税等	30,067	29,265
その他	1,882	1,866
流動負債合計	156,538	153,195
負債合計	156,538	153,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,113,757	5,573,154
資本剰余金	5,093,757	5,553,154
利益剰余金	△9,931,290	△10,773,091
自己株式	△337	△337
株主資本合計	275,886	352,880
新株予約権	1,910	2,576
純資産合計	277,796	355,457
負債純資産合計	434,334	508,653

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
事業収益	—	—
事業費用		
研究開発費	782,899	697,705
その他の販売費及び一般管理費	133,407	133,510
事業費用合計	916,306	831,215
営業損失 (△)	△916,306	△831,215
営業外収益		
受取利息	76	538
為替差益	322	313
その他	11	32
営業外収益合計	409	884
営業外費用		
株式交付費	—	10,218
営業外費用合計	—	10,218
経常損失 (△)	△915,896	△840,549
税引前中間純損失 (△)	△915,896	△840,549
法人税、住民税及び事業税	1,251	1,251
法人税等合計	1,251	1,251
中間純損失 (△)	△917,147	△841,800

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純損失 (△)	△915,896	△840,549
減価償却費	789	718
受取利息	△76	△538
為替差損益 (△は益)	1,112	1,244
株式交付費	—	10,218
未払金の増減額 (△は減少)	△123,578	△2,524
その他	△26,742	21,915
小計	△1,064,391	△809,515
利息の受取額	76	538
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,511	△2,450
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,066,826	△811,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	250,000
社債の償還による支出	—	△250,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	907,112
新株予約権の発行による収入	—	2,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	909,242
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,112	△1,244
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,067,939	96,570
現金及び現金同等物の期首残高	1,417,062	338,829
現金及び現金同等物の中間期末残高	349,122	435,400

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当中間会計期間において、第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権の発行及びその権利行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ459,397千円増加し、当中間会計期間末において、資本金が5,573,154千円、資本剰余金が5,553,154千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(新株予約権の行使)

当社が2025年4月30日に発行した第10回新株予約権(行使価額修正条項付)について、2025年10月1日から11月7日までの期間において、以下の行使が行われております。

第10回新株予約権

① 行使された新株予約権の個数	6,349個
② 発行した株式の種類及び株式数	普通株式 634,900株
③ 資本金増加額	129,429千円
④ 資本準備金増加額	129,429千円

以上により、発行済株式総数は12,159,900株、資本金は5,702,584千円、資本準備金は5,682,584千円となっております。